

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月23日 (2009.4.23)

【公開番号】特開2008-246267 (P2008-246267A)

【公開日】平成20年10月16日 (2008.10.16)

【年通号数】公開・登録公報2008-041

【出願番号】特願2008-190072 (P2008-190072)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月10日 (2009.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の第 1 の識別情報を可変表示可能な画像表示装置を有し、該画像表示装置の表示結果が予め定められた特定の第 1 の識別情報の組合わせになった場合に、遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記画像表示装置において、前記複数種類の第 1 の識別情報を可変開始させた後その表示結果を導出表示させる制御を行なう画像表示制御手段を含み、

該画像表示制御手段は、

前記複数種類の第 1 の識別情報を表示するための第 1 識別情報画像データと、前記複数種類の第 1 の識別情報とは別の複数種類の第 2 の識別情報を表示するための第 2 識別情報画像データと、前記第 1 および第 2 の識別情報とは別のキャラクタを表示するためのキャラクタ画像データとを記憶する画像データ記憶手段を含み、

前記複数種類の第 2 の識別情報を、前記複数種類の第 1 の識別情報の可変表示と連動させて可変表示するとともに、前記第 1 の識別情報を隠された表示状態とする表示制御をしているときに前記第 2 の識別情報について可変表示状態を視認可能な状態に表示し、

前記画像データ記憶手段に記憶された前記キャラクタ画像データを、前記特定遊技状態を含む複数種類の遊技状態において共通に使用することを特徴とする、遊技機。

【請求項 2】

複数種類の第 1 の識別情報を可変表示可能な画像表示装置を有し、該画像表示装置の表示結果が予め定められた特定の第 1 の識別情報の組合わせになった場合に、遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記画像表示装置において、前記複数種類の第 1 の識別情報を可変開始させた後その表示結果を導出表示させる制御を行なう画像表示制御手段を含み、

該画像表示制御手段は、

前記複数種類の第 1 の識別情報を表示するための第 1 識別情報画像データと、前記複数種類の第 1 の識別情報とは別の複数種類の第 2 の識別情報を表示するための第 2 識別情報画像データと、前記第 1 および第 2 の識別情報とは別のキャラクタを表示するためのキャラクタ画像データとを記憶する画像データ記憶手段を含み、

前記複数種類の第 2 の識別情報を、前記複数種類の第 1 の識別情報の可変表示と連動させて可変表示するとともに、前記第 1 の識別情報を隠された表示状態とする表示制御を

しているときに前記第 2 の識別情報について可変表示状態を視認可能な状態に表示し、

前記画像データ記憶手段に記憶された前記キャラクタ画像データを、前記第 1 の識別情報を可変表示させるための始動入賞が所定期間発生していない場合におけるデモンストレーション状態を含む複数種類の遊技状態において共通に使用することを特徴とする、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この発明の目的は、識別情報が遊技者にとって認識しにくい変則的な動作をしても、可変表示状態を十分に認識させ、変化に富んだ表示にし、可変表示の面白味を向上させることである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、複数種類の第 1 の識別情報を可変表示可能な画像表示装置を有し、該画像表示装置の表示結果が予め定められた特定の第 1 の識別情報の組合わせになった場合に、遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記画像表示装置において、前記複数種類の第 1 の識別情報を可変開始させた後その表示結果を導出表示させる制御を行なう画像表示制御手段を含み、

該画像表示制御手段は、

前記複数種類の第 1 の識別情報を表示するための第 1 識別情報画像データと、前記複数種類の第 1 の識別情報とは別の複数種類の第 2 の識別情報を表示するための第 2 識別情報画像データと、前記第 1 および第 2 の識別情報とは別のキャラクタを表示するためのキャラクタ画像データとを記憶する画像データ記憶手段を含み、

前記複数種類の第２の識別情報を、前記複数種類の第１の識別情報の可変表示と連動させて可変表示するとともに、前記第１の識別情報を隠された表示状態とする表示制御をしているときに前記第２の識別情報について可変表示状態を視認可能な状態に表示し、

前記画像データ記憶手段に記憶された前記キャラクタ画像データを、前記特定遊技状態を含む複数種類の遊技状態において共通に使用する。

あるいは、前記画像データ記憶手段に記憶された前記キャラクタ画像データを、前記第１の識別情報を可変表示させるための始動入賞が所定期間発生していない場合におけるデモンストレーション状態を含む複数種類の遊技状態において共通に使用する。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

このような構成によれば、複数種類の第１の識別情報とは別の複数種類の第２の識別情報を、複数種類の第１の識別情報の可変表示と連動させて可変表示するとともに、第１の識別情報を隠された表示状態とする表示制御をしているときに第２の識別情報について可変表示状態を視認可能な状態で表示するため、第１の識別情報が遊技者にとって認識しにくい変則的な動作をしても、可変表示状態を十分に認識させ、変化に富んだ表示にし、可変表示の面白味を向上させることができる。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 0 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 0 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 0 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 0 5

【補正方法】削除

【補正の内容】